

- 問1 米の生産量が小麦を大幅に上回り、北東部では茶の栽培も行われているタイの食文化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。
(2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. イモ類やライ麦を主食としており、寒冷な気候でも育つ作物を中心に、乳製品を組み合わせた食事が一般的である。 | 2. トウモロコシを主食としており、粉状に挽いて薄く焼き上げたトルティーヤというパンのような料理が日常的に食べられている。 | 3. 小麦を主食としており、パスタやピザなどの粉製品が中心で、地中海沿岸の食材を多用する傾向がある。 | 4. 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。 |
|---|---|--|---|
- 問2 アジアの国々のうち、国土の平均標高が低く平地が多いことや、年間を通じて気温が高く降水量が多い気候条件を生かして、米の生産が盛んに行われている南アジアの国はどこですか。
(2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|------------|------------|
| 1. カザフスタン | 2. モンゴル | 3. サウジアラビア | 4. バングラデシュ |
|-----------|---------|------------|------------|
- 問3 世界の主要な農作物の統計において、ブラジルの生産量が全体の約34%、次いで第2位の国が約15%、インドネシアが約7%を占めている作物があります。この第2位に該当する国に関する説明として、地理的な視点から最も適切なものを選びなさい。
(2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 赤道直下に位置する多くの島々からなり、東南アジアで最大の面積を持つ。 | 2. マレー半島の先端に位置し、中継貿易の拠点として発展している。 | 3. 内陸国であり、メコン川の中流域に沿って国土が広がっている。 | 4. インドシナ半島の東側に位置し、首都をハノイに置いている。 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
- 問4 西アジア・オセアニア地域のいくつかの国について、一人あたりの国内総生産（GDP）と主な輸出品目を比較した調査において、サウジアラビアの特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 一人あたりの国内総生産は約3,000ドル台で、石炭やパーム油が主な輸出品となっている。 | 2. 一人あたりの国内総生産が比較的高く、原油や石油製品が輸出額の大部分を占めている。 | 3. 一人あたりの国内総生産が約4万ドルに近く、バターやチーズなどの酪農品が輸出の第1位である。 | 4. 広大な土地を利用した鉱業が盛んで、主な輸出品は鉄鉱石や石炭、羊毛である。 |
|--|---|--|---|
- 問5 アジアにおける工業化の進展に関連して、韓国の鉄鋼業や造船業が遂げた発展の背景と特徴を述べた文として、正しいものはどれですか。
(2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 1980年代から2010年にかけて、ドイツの造船竣工量シェアが急増したことに伴い、韓国のシェアは大幅に縮小した。 | 2. 重化学工業を重視した政策により、粗鋼生産量の増大とともに船舶の竣工量で世界シェアの上位を占めるようになった。 | 3. 原料の輸入を抑えるため、自国内で採掘される豊富な鉄鉱石と石炭のみを利用して鉄鋼生産を拡大させた。 | 4. 経済発展に伴って国内のインフラ整備を優先したため、生産された鉄鋼はすべて国内消費に回され、輸出は行われなかった。 |
|---|---|---|---|
- 問6 トルコの食文化とその背景について説明した文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。
(2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 仏教の教えに基づき肉食を避ける習慣が定着しており、大豆製品や米を中心とした穀物料理が伝統的な食生活の基盤となっている。 | 2. 旧宗主国であるイギリスの文化を強く受けて紅茶が普及したが、主食はキャッサバやトウモロコシであり、沿岸部では魚介類の消費が極端に多い。 | 3. 歴史的にコーヒーとの関わりが深いが、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。 | 4. 冷涼な気候を活かしたライ麦の栽培が盛んであり、主食としての黒パンとともに、牛肉を主とした加工食品が輸出の大部分を占めている。 |
|--|---|--|---|
- 問7 2000年には128社であったベトナム進出の日系製造業の企業数は、2012年には373社へと急増しています。このように、日本の製造業がベトナムへの進出を拡大させている主な理由として、労働力の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. ベトナムは周辺諸国に比べて人口が圧倒的に多く、自社製品を販売するための巨大な消費市場として成熟しているから。 | 2. ベトナムは石油や石炭などの鉱産資源が極めて豊富であり、原材料の調達コストが日本国内よりも安く済むから。 | 3. ベトナムの製造業作業員の平均月収は、日本を100とした指数で見ると5を下回るほど低く、生産コストを大幅に抑制できるから。 | 4. ベトナムの労働者は日本を上回る高度な技術力を有しており、日本国内では不可能な高精密な製品の製造ができるから。 |
|---|--|---|---|
- 問8 東アジアの北緯30度から45度付近に位置し、広大な農地が広がる地域において、生産量が世界一を誇る主要な農産物と、その栽培が盛んな地域の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|--------------|
| 1. 中国西部における綿花 | 2. 中国南部における米 | 3. 中国北部における小麦 | 4. 中国東部における茶 |
|---------------|--------------|---------------|--------------|
- 問9 2010年時点の推計において、鉄鋼生産量の上位を占める日本、韓国、中国の東アジア諸国では、同量の鉄鋼を生産するために必要なエネルギー量が、世界平均を100とした場合にいずれも100を下回る数値（日本85、韓国88、中国99）となっています。このような状況から読み取れる、東アジアの鉄鋼業の共通した特徴として最も適切なものはどれですか。
(2018年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. エネルギー源の大部分を自国内の再生可能エネルギーでまかなうことで、化石燃料の使用を抑えている。 | 2. 生産量が非常に多いため、1トンあたりのエネルギー消費量が世界平均よりも増大している。 | 3. 鉄鉱石や石炭などの原材料をすべて自国でまかなっているため、輸送に関わるエネルギーが省かれている。 | 4. 高度な製造プロセスや省エネ技術の導入により、世界平均よりも効率的な鉄鋼生産を行っている。 |
|--|---|---|---|
- 問10 1967年に結成され、現在東南アジアの10か国が加盟している、地域の経済成長や平和・安定の促進を目的とした国際組織の名称を次の中から選びなさい。
(2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|-------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 南米南部共同市場（MERCOSUR） | 2. 欧州連合（EU） | 3. 東南アジア諸国連合（ASEAN） | 4. アジア太平洋経済協力会議（APEC） |
|-----------------------|-------------|---------------------|-----------------------|
- 問11 1970年代後半から中国が実施した「改革・開放」政策において、シェンチェン（深セン）などの沿海部の都市に設けられた、外国の資本や技術を導入するための特別な地区の名称を次の中から選びなさい。
(2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|----------|---------|
| 1. アジアNIES | 2. 経済協力開発機構 | 3. 特別行政区 | 4. 経済特区 |
|------------|-------------|----------|---------|
- 問12 経済発展が続く東南アジアの国々では、かつての輸出品の「生産拠点」としての役割に加え、近年では「市場」としての重要性が高まっています。ある国において、10年間で人口が約630万人から690万人へと増加し、一人あたり国民総所得（GNI）も1073ドルから1557ドルへと上昇した統計がある場合、この国が巨大な消費市場へと成長している理由として最も適切な説明はどれですか。
(2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 一人あたり国民総所得が停滞したことで、国内での消費よりも、安価な労働力を生かした工業製品の輸出を優先したため。 | 2. 人口が減少したことで労働力が不足し、安価な製品の生産から高付加価値な製品の輸入へと経済構造が転換したため。 | 3. 人口は増加しているものの、一人あたり国民総所得が減少したことで、生活必需品を中心とした独自の国内市場が形成されたため。 | 4. 人口の増加によって消費者の数が増え、一人あたり国民総所得の向上によって人々の購買力が高まったため。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。	タイは世界有数の米輸出国でもあり、食生活においても米が中心的な役割を果たしています。代表的な料理である「カオマンガイ（鶏肉の炊き込みご飯）」や、米粉を原料とした麺料理である「パッタイ」などは、現地の農業生産の特色を強く反映した食文化の具体例です。
問2	答え 4 バングラデシュ	バングラデシュは国土に平地が多く、年間を通して高温で降水量が多い気候のため、米の生産に適しています。
問3	答え 4 インドシナ半島の東側に位置し、首都をハノイに置いている。	統計で示されている作物はコーヒー豆であり、世界第2位の生産国はベトナムです。ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する南北に長い国であり、北部のハノイを首都としています。インドネシアもコーヒーの主要生産国ですが、島国であり面積が東南アジア最大であるという特徴があります。内陸国であるのはラオス、中継貿易で発展しているのはシンガポールであり、統計の順位とは一致しません。
問4	答え 2 一人あたりの国内総生産が比較的高く、原油や石油製品が輸出額の大部分を占めている。	サウジアラビアは世界有数の石油産出量を誇り、国の経済は原油やその加工品である石油製品の輸出に大きく依存しています。豊富な資源を背景に、周辺の発展途上国と比較して一人あたりの国内総生産が高い水準にあるのが特徴です。石炭やパーム油はインドネシア、酪農品はニュージーランド、鉄鉱石や羊毛はオーストラリアの貿易の特徴を示しています。
問5	答え 2 重化学工業を重視した政策により、粗鋼生産量の増大とともに船舶の竣工量で世界シェアの上位を占めるようになった。	韓国の経済発展は、輸出主導型の工業化が特徴です。特に鉄鋼業（粗鋼生産）の拡大は、同じく重工業である造船業の発展と密接に関連しています。1980年から2010年にかけて、韓国は日本、中国とともに世界の造船竣工量の大部分を占めるまでになり、アジアを代表する工業国の一つとなりました。
問6	答え 3 歴史的にコーヒーとの関わりが深い、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。	トルコは世界的に有名な「トルコ・コーヒー」の文化を持ちますが、20世紀の共和国成立以降、政府が北東部の黒海沿岸での茶の栽培を推進したことで、現在は紅茶（チャイ）が国民的な飲料となっています。また、イスラム教徒が多い背景から豚肉ではなく羊肉（マトンやラム）が主に使われ、トマトなどの野菜と合わせた煮込み料理やスープが特徴的です。
問7	答え 3 ベトナムの製造業作業員の平均月収は、日本を100とした指数で見ると5を下回るほど低く、生産コストを大幅に抑制できるから。	2000年代以降、日系製造業のベトナム進出が加速した最大の要因は、安価で豊富な労働力にあります。実際に製造業作業員の平均月収を比較すると、日本を100とした場合にベトナムは4.7という極めて低い水準にあり、人件費を抑えて生産コストを下げることを目的とした進出が相次ぎました。資源の豊富さや市場の規模よりも、この賃金格差が大きな進出動機となっています。
問8	答え 3 中国北部における小麦	中国の農業は、年降水量約1000mmのラインを境に、南部での稲作と北部での畑作に大きく分かれます。北緯30度から45度付近に位置する中国北部では、比較的乾燥した気候を活かして小麦の栽培が極めて盛んに行われており、その生産量は世界最大規模となっています。
問9	答え 4 高度な製造プロセスや省エネ技術の導入により、世界平均よりも効率的な鉄鋼生産を行っている。	鉄鋼生産において、同量の製品を作るために必要なエネルギー量が世界平均を下回っているということは、それだけエネルギー効率が高いことを意味します。日本、韓国、中国といった東アジアの主要産鋼国は、最新の製鉄設備の導入や、製造工程で発生する熱の再利用などの技術開発を進めてきました。これにより、限られたエネルギーで効率よく生産を行う体制が整っており、国際的な産業競争力を維持する要因の一つとなっています。
問10	答え 3 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイのバンコクで設立が宣言されたこの組織は、当初は冷戦下の安全保障が主な関心事でしたが、現在は経済、社会、文化の発展を目的として活動しています。ベトナムやミャンマーなどが相次いで加盟したことで、現在は東ティモールを除く東南アジアの全10か国が加盟する組織となりました。
問11	答え 4 経済特区	中国は1970年代末から「改革・開放」政策を推し進め、それまでの計画経済に市場経済の仕組みを導入しました。その中核となったのが「経済特区」です。これは輸出入に便利な沿海部の都市を指定し、外国企業に対して税制の優遇などの措置を行うことで、資本や高度な技術を呼び込むための制度です。これに対し、香港やマカオのように返還後も高度な自治が認められている地域は「特別行政区」と呼ばれ、混同されやすいため注意が必要です。
問12	答え 4 人口の増加によって消費者の数が増え、一人あたり国民総所得の向上によって人々の購買力が高まったため。	東南アジアなどの新興工業国では、経済成長に伴って人口が増加し、それと同時に国民一人ひとりの経済的な豊かさを示す「一人あたり国民総所得（GNI）」も向上しています。これにより、モノを買う能力（購買力）を持った消費者が増えるため、海外企業にとっても自社の製品を売るための魅力的な「市場」へと変貌を遂げます。設問の統計数値のように、人口と所得の双方が右肩上がりに成長することは、市場としての規模と質が共に高まっていることを裏付けています。